

真心と笑顔で走るあおぞら号！

あおぞら

《 みたかハンディキャブ交流誌 秋季号 Vol.139 》



協力：朗読ボランティア 《ういろうの会》

秋の日帰り交流会実踏報告とご案内

7月14日(日)、秋の交流会の目的地カイツリーへ実踏見分に行ってきました。当日は雨模様ですがすぐ近くからもカイツリーが見えず、当然展望707-からも真下以外は見えませんでした。交流会の目的地として如何なものかとも思われましたが、その後立ち寄ったソラマチ(下記写真参照：食品ザプルのお店)および水上バス(下記写真参照：きれいな橋の下を通ります)が結構楽しめそうなことから雨天決行も可能との判断をしました。

皆さん、実踏写真(表紙写真参照)を見て躊躇することなくぜひご参加ください。



日 時：令和元年10月20日(日)

行き先：東京スカイツリー・隅田川クルーズの東京観光です。地上445mから450mへ110m続く展望回廊の“空中散歩”を楽しみます。その後東京ソラマチで食事とショッピングをした後、浅草水上バスで日の出桟橋へ船の旅を楽しみます。

定 員：15組(応募者多数の場合は抽選とします)

原則として参加者は身の回りの世話ができる付添者の同行をお願いします。

申し込み方法及び期限：キャブ事務所へ9月13日(金)までにお電話ください。

Tel 0422-41-0185

費用：1人 6,700円

(入場料・昼食代・乗船料を含みます)

送 迎：自宅と市役所の間は無料で送迎致します。



三鷹警察による安全運転講習会

7月の“みたかハンディキャブ定例報告会”では三鷹警察署交通課・酒谷氏から安全運転の話を伺いました。「ドラレコヒヤリハット大解析」のビデオにヒヤリとしたりハットしたりしました。事故のポイントを教わりましたので列記します。運行時の参考にして下さい。

- *車も人通りも少ない、走り慣れている道の信号のない交差点での車と車の衝突事故⇒慣れている道でも速度を落として走行し、交差点にさしかかったら十分に確認する
- *狭くて走りにくい道での自転車との衝突事故⇒狭い道を走行中、優先道路であっても、標識無視する自転車を予測する。事故は必ず警察に届けること！
- *狭い道から左折して広い道へ合流する際に左から走行してきた自転車との衝突事故⇒左折時に自転車のブレーキ音が出たのを聞き落としていた
- *渋滞中の大きな道路での追突事故⇒混雑していても車間距離をとり、交差点が青信号になっても先の渋滞を予測して走行する
- *脇道の車の信号無視による大事故⇒十分に車間距離をとれていて、危険がないような道を走行している時ほど大事故になりやすい。交差する道路の車の動きに要注意
- *集合住宅が多い地域を走行している際には、子供が乗る自転車やお年寄りに注意を払う
- *物陰からの自転車の飛び出し、並走する自転車の急転回を想定して走行する
- *自動車専用道路を走行する自転車の映像もあり、私たちをとり巻く交通環境の危険を知りました。また三鷹市内の東八道路、人見街道、連雀通り、三鷹通りの映像もありました。市内では平成29年12月31日以降、今日迄死亡事故はゼロ。この先もゼロをめざしているとの事です。自覚と責任をもってハンドルを握り、また

歩行者としても自覚をもって事故を減らすように努力するようにとのことでした。運転免許証の返納については2~5人/日で、100人/月程度とのことです。最後に特殊詐欺への注意喚起で講義は終了しました。

酒谷氏より安全講習受講の押印をいただき、資料〔自転車の正しい乗り方、自転車ナビライン、高齢者の為の交通安全読本・安全毎日〕と反射シール、バンドエイドが配られました。

講習会后、三鷹駅近くの“麒麟シティ三鷹店”で暑気払いを盛大に行いました。

キャブボランティアの活動

東京のくらしの足を考える会

「東京のくらしを考える会」とは勝間田前理事長らが提唱し始まった「福祉有償運送」を行っている団体が、情報交換や各団体が抱えている諸問題の解決策を検討・提案し合う集まりです。年4回定期的に三鷹で開催されています。キャブは恵まれた環境で今日まで来ました。

でも、“井の中の蛙”とまでは言いませんが福祉有償運送を取り巻く環境に順応する為にも情報交換の必要性を感じます。

私たちの東京で、日常生活のくらしの足に問題を抱える方々が多くなっています。

誰もが自由におでかけできる東京を目指して、今後も「考える会」を開催します。

多くの方のご参加を期待します。

次回開催案内： 9月28日(土) 14:30～ 於：みたかボランティアセンター



あおぞら134号から連載してきました、“キャブのボランティア活動”も今回で終わります。日々の運行以外に多くのキャブVo.がいる関わってくれるからキャブの活動が行われています。今後も多くのVo.の参加をお願い致します。

シニアドライバー研修

現在キャブはVoさん不足に悩まされていて運転者講習会の際はVo募集の広報活動を行っています。昨年は9名(今年になり3名)の方が参加して戴きました。しかしまだ不足解消には至っていません。更に今後75才の定年を迎えるVoさんが多く、その方々には75才の誕生日を迎えた年度末まで参加(運行をお願い)して戴いています。

このような状況は続きますので高齢者安全運行の一環として

1. 75才の誕生月には健康診断の受診と
2. シニアドライバー研修の受講
3. 誕生月から6ヶ月後には健康診断の再受診を義務づけることにしました。

現在、今後のキャブ運営について理事会で協議を始めていますが、若いVoさんに参加して戴くような対策を講じなければなりません。しかし高齢者雇用促進が叫ばれ、年金問題が浮上し、65才を過ぎてなお働かなければならない状況下ではそれも覚束ないので別の運営方法で乗り切らなければならない事になるかもしれません。

いまVoさんに対して安全運行の確保の為、自身の交通安全知識、運転技術の確認をして戴くため、警視庁シニアドライバー安全運転教室の受講を薦めています。

警視庁シニアドライバー安全運転教室には毎年2名のVoさんに受講してもらって来ました。またキャブのVo構成員は70代が多くなり、高齢者による交通事故が目立って報道される様になりましたので、安全運行確認のために今年からはもっと多くのVoさんに受講の募集を呼びかけています。その内容を以下に紹介します。

モニターでの適性検査

1. 運転適性検査

イ. 単純反応：停止のサインが出たらブレーキペダルを踏み、すぐにまたアクセルペダルを踏み続ける。

ロ. 選択反応：赤・青・黄の信号に従ってアクセルとブレーキの操作

ハ. ハンドル操作：指示された方向にハンドル操作

二. 注意配分・複数作業：

2. 講話

頭の体操 ジャanken後出し：勝つじゃんけん：負けるじゃんけん

負けるじゃんけんでは咄嗟の判断と行動が難しいことを指摘

・人間の行動には認知・判断・行動という行動パターンであるという。

・危険を察知する能力を高めることはなかなか難しい。そこで危険を予知・予測することで回避できる。

例えば

・裏通りの出会い頭事故：自転車の右側通行との出会い頭

徐行 ⇒ 一時停止 というパターンで回避できることがある。

重大事故(死亡)：軽傷事故：ハットしたこと=1：29：300→ハインリッヒの法則



このハットしたことを出来るだけ0に近づけることで事故発生率を低くすることが出来る。

○ セルフトーク(心の中のつぶやき)について

1. 心・感情のコントロール(平静を保つ)→焦る・怒る(イライラ ムカツキ)

2. 運転計画→余裕を持って

3. 法規・危険予知・安全確認

実地指導

イ. 法規に照らした運転

助手席の指導教官の指示に従い教習所内を走行

ロ. 応用運転

交流部 伊藤記

①. パイロン(直線上に配置)を避けてジグザグ運転(出来るだけ速い速度でパイロンを通過)

②. 狭小路の右左折運転(内輪差・外輪差感覚の確認)

③. 一本橋走行(幅30cm位の一本橋を想定した部分に前・後輪を乗せて走行)車幅感覚の確認

ハ. 咄嗟のハンドルさばき感覚

時速30kmを保ちセンサー横を通過：

前方の信号(左右)青信号方向に進行。

この時ブレーキは踏まず、

ハンドル捌きで青信号方向の走路に進行。



実地講習会場



8の字走行



片輪走行

春の交通安全運動表彰

6月21日（金）三鷹警察署に於いて、優良運転者表彰が行われました。
東垣Vo.がキャブの安全運転管理者として適切な安全運転管理に努めた
として警視庁交通部長賞を、生田Vo.・須山Vo.も三鷹署長賞をそれぞれ
受賞しました。今後も多くのVo.が表彰されるように安全運転に努めましょう。



行事实績・今後の予定行事

☆6/2ボランティア募集ビラ配り、6/16ボランティア募集説明会、6/22、23福祉有償運送運転者講習会実施、
新入会員なし。ボランティア不足解消の名案募集中！福祉有償運送運転者講習会講師も募集中！！

☆7/18鷹口コネットワーク大楽実習協力

☆キャブのホームページを更新しました、パソコン、スマホをお持ちの方、ぜひご覧ください

☆9/8理事会(10:00～)、報告会(13:30～)、車両整備

☆9/14、15敬老の集い、送迎運行協力お願いします

☆10/20日帰り交流会、協力ボランティア募集中

☆11/17福祉バザー

ハンディキャブは、三鷹市社協主催 第41回福祉バザーへ出店します。

皆様のご家庭で使わない物品の提供をお願い致します。

開催日時：2019年11月17日（日）午前10時～午後2時

開催場所：三鷹中央防災公園・元気プラザ（三鷹市新川6-37-1）

物品受け入れ期間：2019年10月28日（月）～11月8日（金）

物 品：なるべく未使用な物

連絡先：直接キャブ事務所へお持ちください。電話を頂ければ、取りに伺います。

編集後記

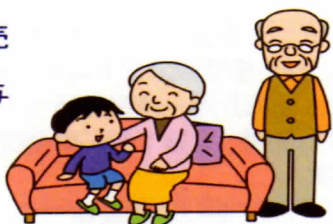
どうにもこうにも異常に寒い日が続いたかと思えば、
嘘みたいに暑い日が続きスコールのような雨が降ったり。
ボランティアさんも利用者さんも健康に留意して、運行
とキャブ利用に努めましょう。それにしてもこの分だと
秋にも暑気払いの宴をやる必要がありそうです。
人間どもがやらかした環境破壊がいよいよ地球の体を
蝕み始めたのかもしれませんが。もっとも1億年の単位
では太陽も巨大化して熱くなってきているので地球
温暖化の解消は太陽が白色矮星になるまで待たな
ければ解消しないかも。

**株式会社
サカイ・ヘルスケア**

私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



<サカイ・ヘルスケア 三鷹店>
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

みたかハンディキャブ緊急連絡先

運行管理者／東垣 080-1102-7281

万一上記の連絡先で連絡が取れない場合のみ下記の連絡先へご連絡ください。

須山 080-2150-9696、野本 080-3256-8660、宮田 090-4833-3541



NPO法人 みたかハンディキャブ 交流紙
発行 NPO法人みたかハンディキャブ交流部会
〒181-0012 三鷹市上連雀8-3-10 三鷹市上連雀分庁舎
TEL 0422-41-0185 FAX 0422-41-0274
E-mail: mcab3@jcom.zaq.ne.jp
http://mcab.jp
発行日：2019年9月1日